組立・設置説明書

据置式段差解消機
スマートリフト120（横乗りユニットタイプ）

このたびは据置式段差解消機(横乗りユニットタイプ)をお買い上げ頂きありがとうございます。
組立前にこの“組立・設置説明書”をよくお読みの上、正しく組み立てて下さい。
お読みになったあとは大切に保管しておいて下さい。
万一紛失の場合はご請求下さい。

目　次

1．安全上に関するご注意……………………………………………2
2．設置上のご注意……………………………………………3
3．必要工具……………………………………………4
4．左官工事について……………………………………………4
5．梱包形態（各部名称）……………………………………………5･6
6．設置前チェック……………………………………………7
7．組 立……………………………………………7～14
8．分 解……………………………………………14
9．アンカーボルト設置方法……………………………………………14
10.アースについて……………………………………………15
11.設置完了後のチェックリスト……………………………………………15

HANAOKA

1211
Ver.06

設置前にこの組立･設置説明書を必ずお読みの上、設置して下さい。

■ 本体に同梱されている取扱説明書は、製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚したりしないよう大切に保管し、組立完了後使用する方にお渡し下さい。

■ 電気配線工事は、電気工事士の資格が必要です。

《分解》

■ 組立の逆手順にて行って下さい。（カイモノは必ず最初に入れて下さい。）細かい部品（ビス、ピン、ネジ類）を紛失しないようご注意して下さい。

■ 組立同様、ケガに注意して作業を行って下さい。

《消毒･保管》

■ コラム以外はスチーム洗浄や酸性水洗浄など水洗可能です。コラムは電装関係がありますので布などで拭き取って清掃、消毒して下さい。

■ 保管する際は各部品を十分乾燥させてから梱包して下さい。

■ 保管の前にグリスアップなどの整備を行って下さい。また、全ての部品が揃っているか確認して下さい。

■ 保管は湿気の少ない場所にて保管して下さい。

■ 再組立の際は事前に全ての部品が揃っているか確認して下さい。

1.安全上に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守り下さい。

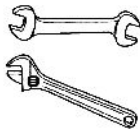
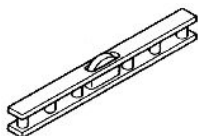
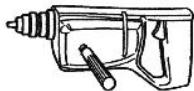
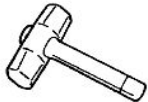
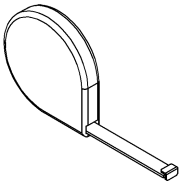
⚠警告　人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意　障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

■お守りいただく事項の種類を次の絵表示で、区分し、説明しています。

⚠警告	
アース線接続	■アースは、D種(3種)接地工事をして下さい。 アース工事がされていないと感電などのおそれがあります。
水場使用禁止	■湿気の多い場所に設置しないで下さい。 感電や火災の原因になります。
必ず守る	■必ず、設置説明書に基づき設置を行い、電源「入」の表記があるまで、電源（AC100V）を切った状態で設置して下さい。 活線工事は感電や故障の原因になります。
	■屋外に設置する場合は、アースが必要なため必ずフル接地の防水コンセント（JIS 防雨形）から電源をとって下さい。 守らないと感電などのおそれがあります。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■傷んだ電源プラグ、コンセントは、使用しないで下さい。
感電や火災の原因になります。</td></tr>
<tr><td>分解禁止</td><td>■改造を行わないで下さい。
故障や事故・火災の原因になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">必ず守る</td><td>■組立作業中はシザーベースに「カイモノ」を確実に入れて下さい。
守らないとケガの原因になります。</td></tr>
<tr><td>■運搬や設置中には必ず手袋をはめて作業して下さい。
手袋をはめないとケガの原因となります。</td></tr>
<tr><td>■リフトの部品（パーツ）の運搬は気を付けて行って下さい。
ケガをする恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>■お客様が夜間も使用される場合は照明器具等で十分な明るさを確保して下さい。
守らないと落下し、ケガをするおそれがあります。</td></tr>
</table>

2.設置上のご注意

■搬入・設置について

- 本体及び各オプション装着時の指示を守り、設置して下さい。
- できるだけ軒下等の風雨にさらされないところに設置して下さい。
- 水はけのよい、コンクリート打ちをした水平な場所に設置して下さい。
- コンクリートの傾斜は水勾配(約 1 度の傾斜)を超えないようにして下さい。
- 土面、芝生、砂、砂利等の場所には設置をしないで下さい。
- ブリッジは段差床上面に 30 ㎜以上の架かるように段差解消機の位置決めをして下さい。
- 高さ設定は 600 ㎜以下にてご使用下さい。600 ㎜を超える高さにて設定しないで下さい。
- 上限リミットスイッチドグの固定ネジ(蝶ボルト)の締付けは完全に行って下さい。

■その他

- ワイヤレス電波などのノイズを受けると誤動作や不動作の原因となります。
- 電源電圧が 90V 以下の場合、起動しません。

3.必要工具

スパナまたはモンキー
14㎜
アンカーボルト固定用
六角レンチ

水平器

電動ハンマードリル
アンカーボルト打設用

軍手

ハンマー
アンカーボルト打込み用

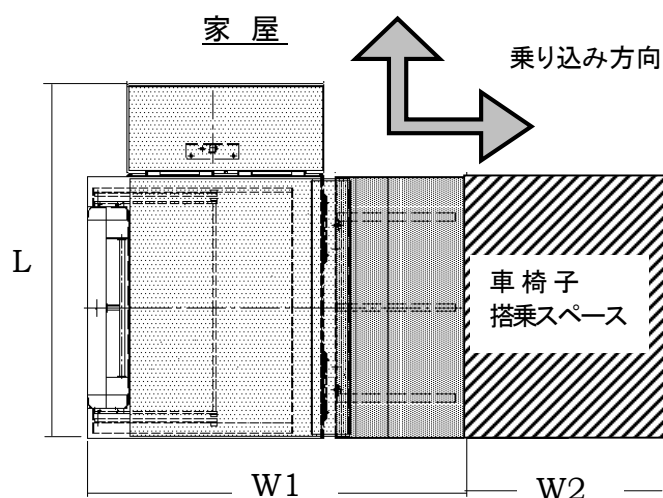
コンクリート穴開け用
ドリル(刃)
ϕ10.5㎜

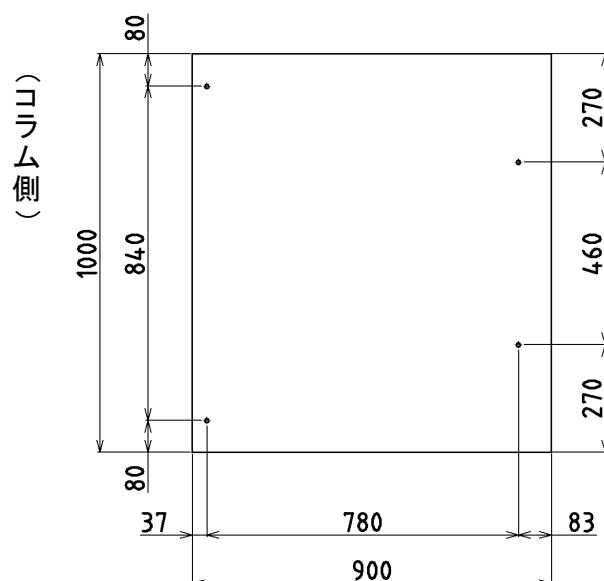
プラスドライバー

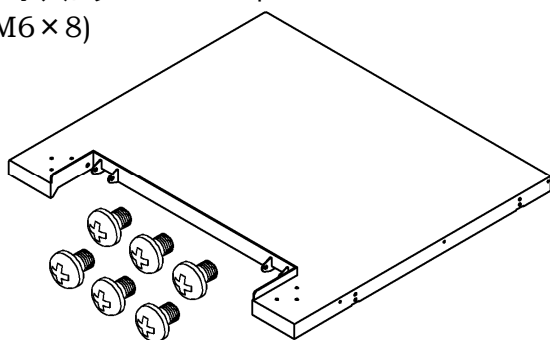
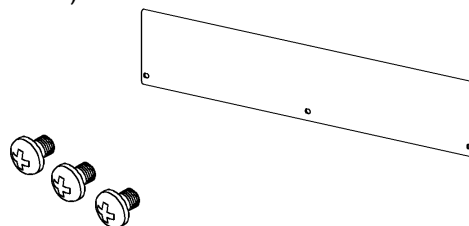
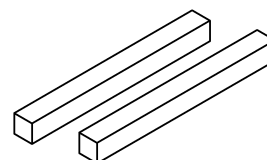
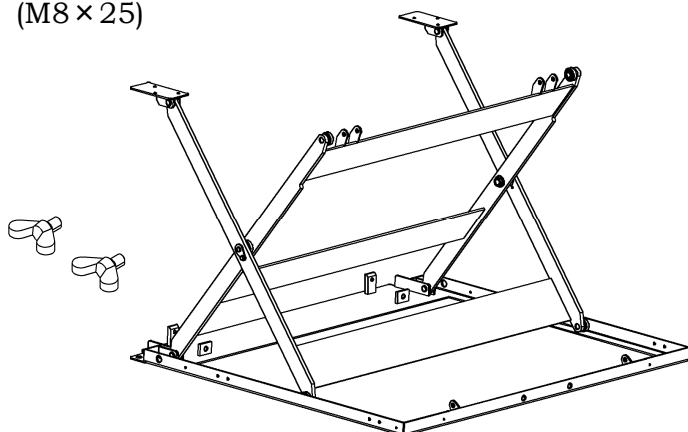
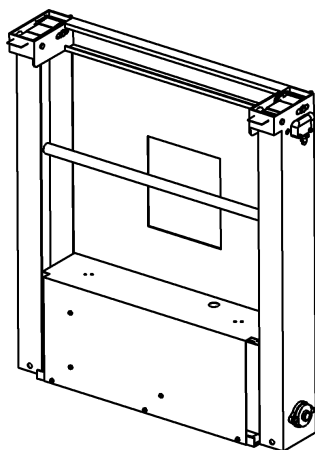
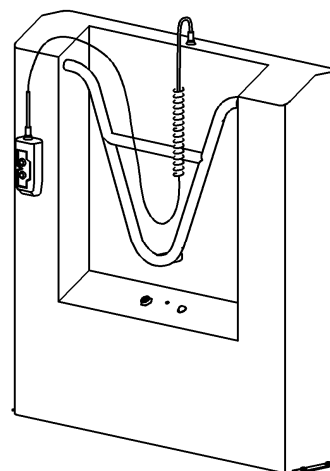
スケール

4.左官工事について

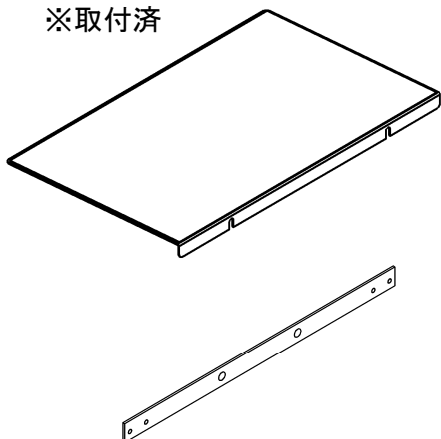
- 設置面は、コンクリート打ちをして下さい。
- ピット工事の場合は、必ず排水孔を設けて下さい。
- 水はけのよい、水平な場所へ設置して下さい。

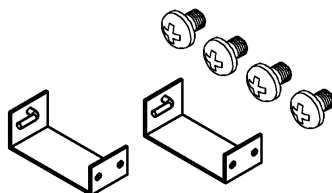
左官工事については下記の寸法を守って下さい。

設置推奨寸法
L ＝1355
W1＝1444・W2＝1200
※W2 は参考寸法です。
車椅子搭乗スペースはお使いの
車椅子寸法を確認ください。

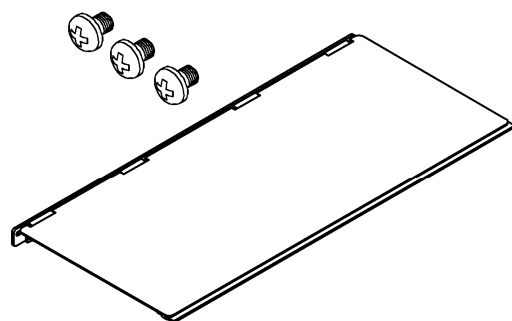
アンカーピッチ寸法
※9.アンカーボルト設置方法を参照

5.梱包形態（各部名称）

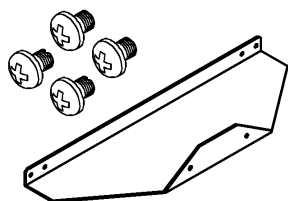
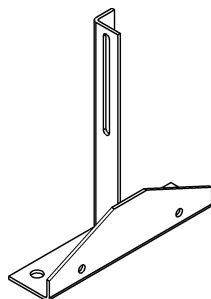
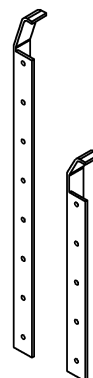
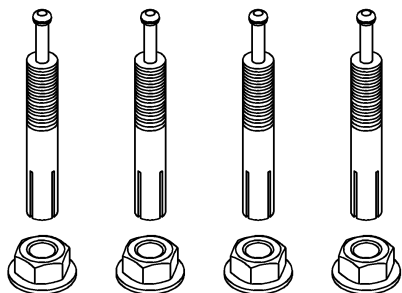
梱包はダンボール梱包となっています。次頁(6 頁)の部品全てに関してはダンボール 1 梱包となっており、各パーツごとに付属部品と一緒にビニール梱包となっております。開梱後、製品のご確認をお願い致します。

【付属品 】

据置スロープ・取付板

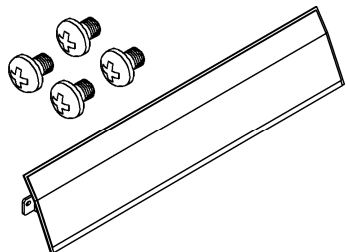
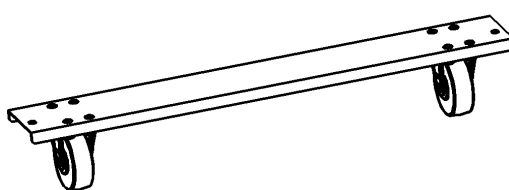
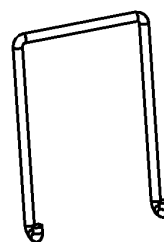
アジャスター×２
※取付済

スロープ固定金具×２

十字穴トラスビス×４
(M6×8)
※シム取付済

自動ブリッジ

十字穴トラスビス×３
(M6×8)

ブリッジガイドステー

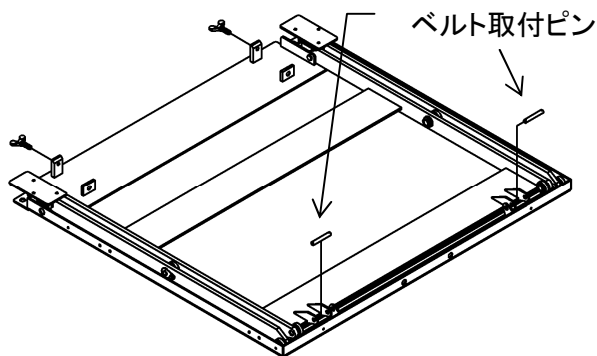
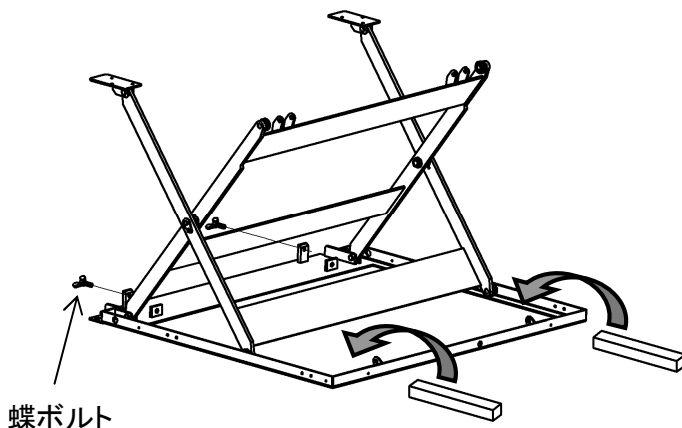
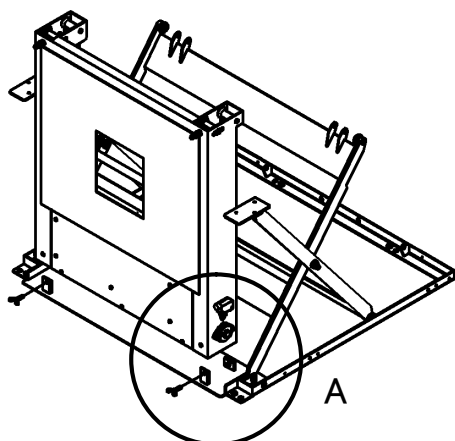
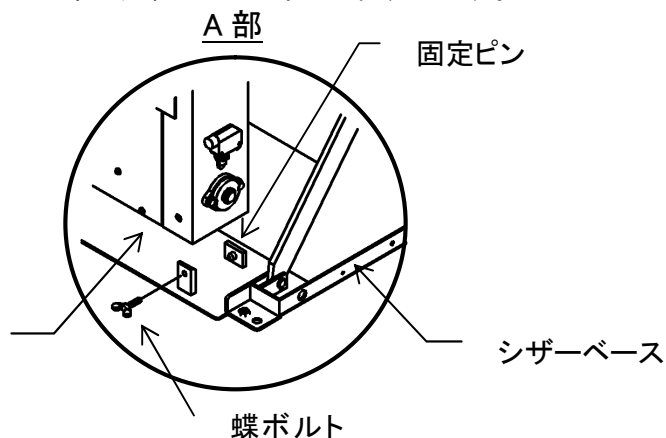
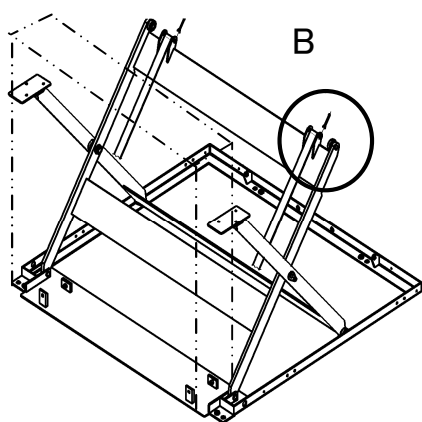
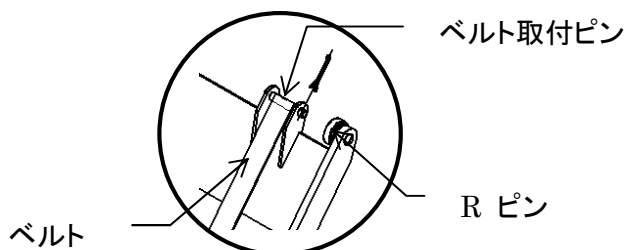
十字穴トラスビス×４
(M6×8)
※シム取付済

ブリッジガイド

高さ調整板　大・小

アンカーボルト×４

【オプション 】

車輪止め

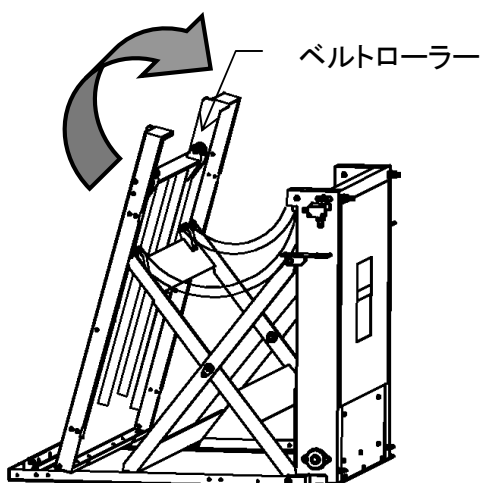
十字穴トラスビス×４
(M6×8)

キャリングキット

キャリングハンドル

6.設置前チェック

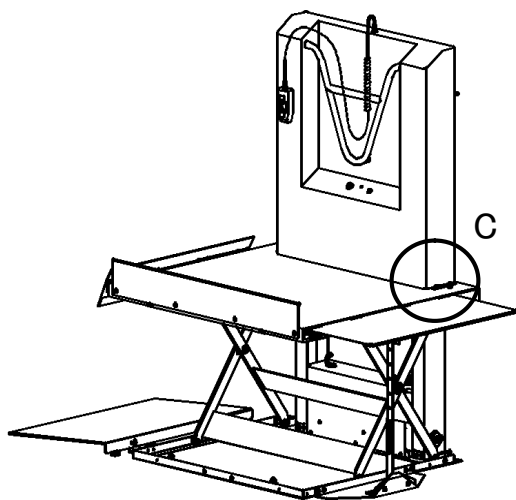
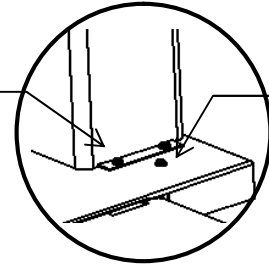
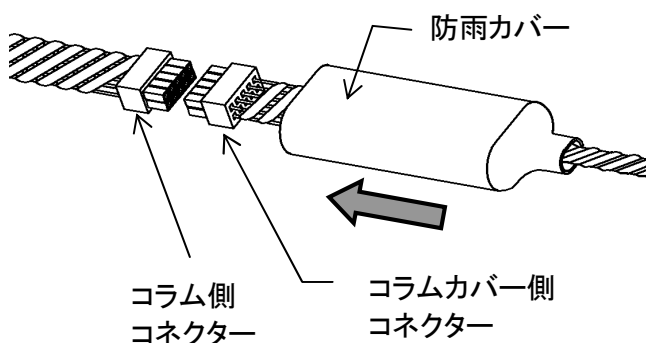
チェック項目	チェック欄	備考
水はけの良い、コンクリート打ちにした水平な場所であること。		
出来るだけ軒下等の風雨さらされない所にあること。		
電源コンセントが設置場所より3ｍ以内であること。		
昇降場所が狭くないこと。車いすで十分乗降が出来る広さがあること。		
製品部品に欠品及び不具合の部品がないこと。		
左官工事寸法が守られていること。（4頁参照）		
傾斜(水勾配)が1度以内あること。		

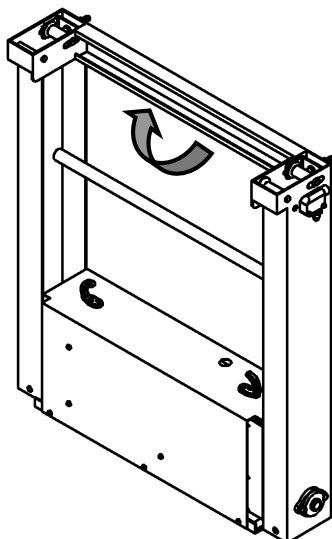
(注)アンカーボルトを打つ必要がある場合はコンクリートの厚みを確認して下さい。(下孔深さ 45 ㎜)

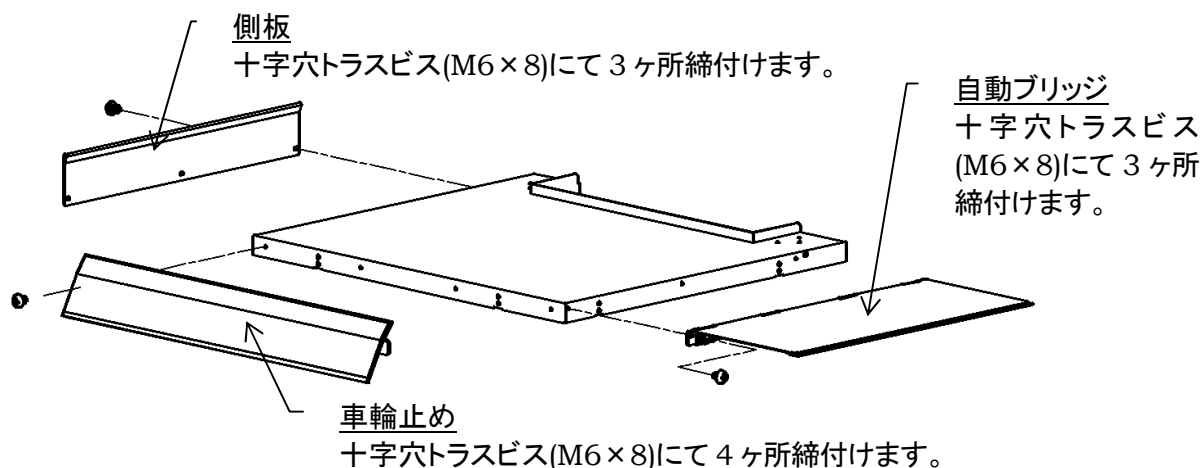
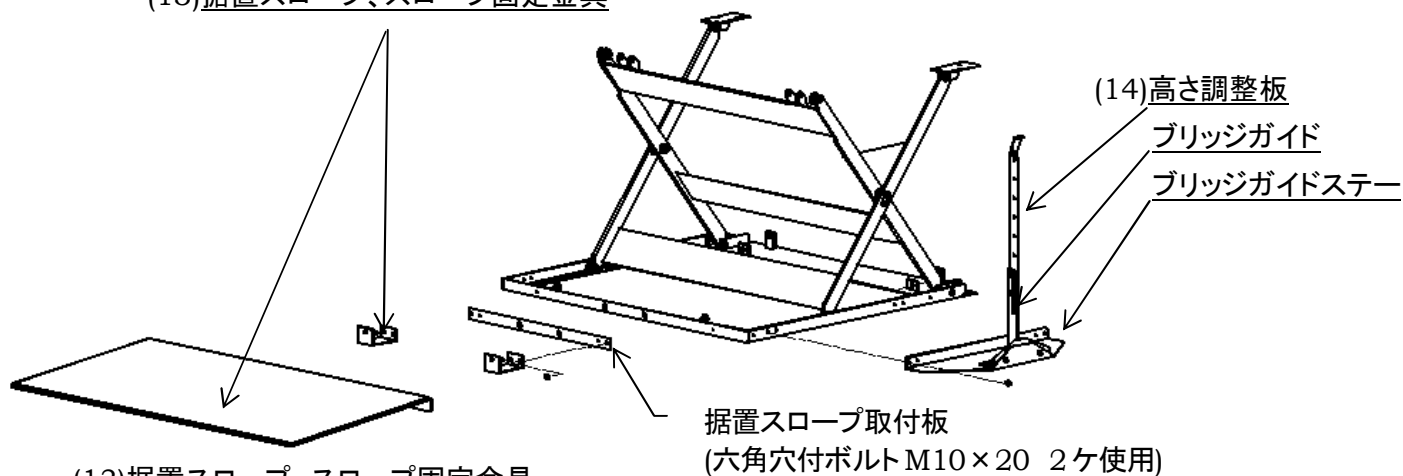
7.組 立

(1) コラムの設置方向を決め、シザーベースを設置場所に置きます。開き防止の為、シザーベースを固定しているベルト取付ピン(左右各 1 本)と各外側の Ｒピンを取り外します。

(2) シザーを持ち上げて開き、カイモノを入れ固定し、コラム側の蝶ボルト(M8×25)左右各 1 本を取り外します。

(3) コラムの穴をシザーベースの固定ピンの位置に合わせ、はめ込みます。その後、後部より蝶ボルト２本にて固定します。

(4) (1)で取外したベルト取付ピンをベルトに通し、シザー側の受け金具に通し、R ピンで固定します。(B 部参照)
この時にベルトがよじれていないこと、傷、ホツレがないかにご注意下さい。

(5) テーブルを左図にようにセットし、シザー先端のローラーがテーブル下部のガイドに合うように位置を確認します。

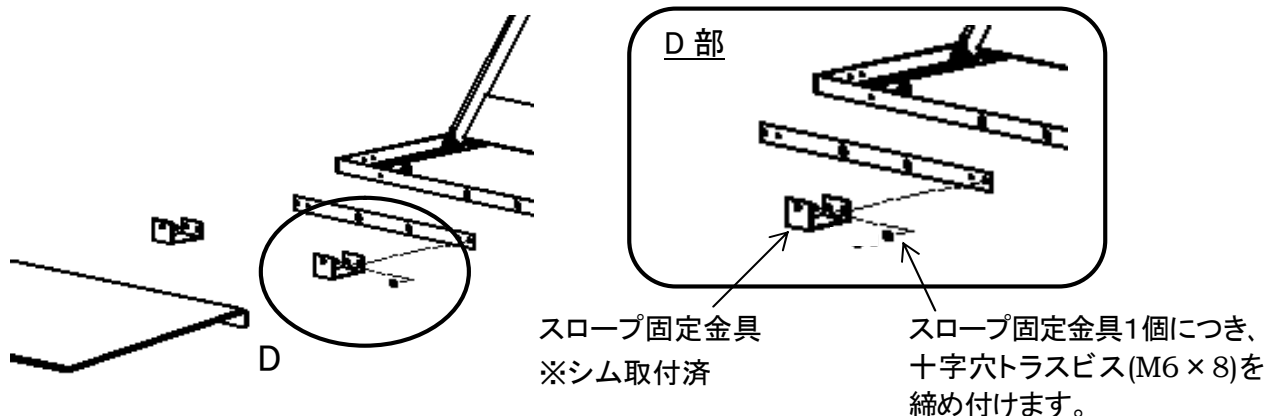
(6) テーブルを矢印の方向に持ち上げ、テーブル奥のベルトローラーにベルトが合っていることを確認し、テーブルを水平にセットします。

⚠警告

ベルトがベルトローラーに当っていることを確認して下さい。ベルトローラーに当っていないとベルトが切れてテーブルが落下する恐れがあります。

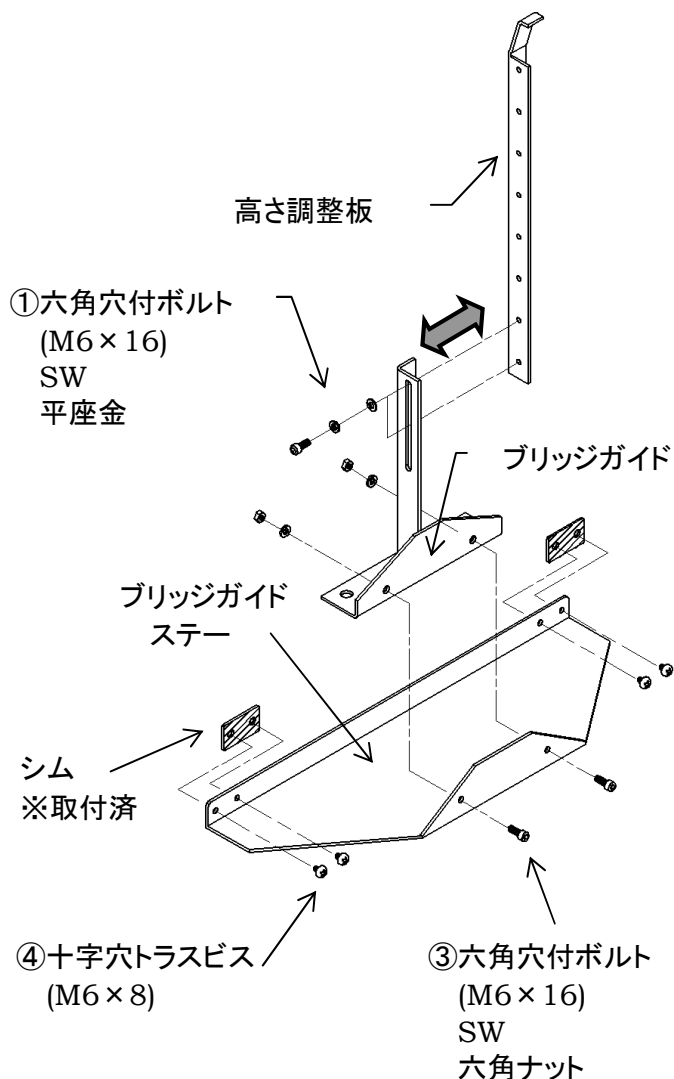
(7) シザーベースとテーブルを十字穴トラスビス(M6×8)左右各 1 本を仮止めします。(C 部参照)

(8) コラムにコラムカバーを被せます。コラムカバーを被せる際、上限用リミットドグ(後から見て左側)が、コラム本体側面のリミットスイッチの下に入るようにコラムカバーを斜めから入れた後、少し持ち上げて 600 ㎜以下に合わせて下さい。カバーとテーブルを十字穴トラスビス(M6×8)にて左右各 2 本を締め付けます。(C 部参照)
左右各2本の十字穴トラスビスが入りましたら(7)にて仮止めしていた十字穴トラスビスと合わせて締め付けます。
※十字穴トラスビスはコラムカバー、テーブ ル、シザーベースの固定を兼ねております。

(9) コラム、コラムカバー側のコネクターを接続後、防雨カバーを矢印の方向に引き、コネクターを保護します。

(10)コネクターを保護後、コラムレール内(矢印の方向)に収納します。

(11) 電源コードを AC100V コンセントに差し込み、キースイッチを ON にして、操作スイッチ“あがる”を押して下さい。テーブルが立ち上がり、カイモノが取り外せる位置まで上昇させ、カイモノを取り外して下さい。

(12)　各オプションについては以下の通り作業を行ないます。

(13)据置スロープ、スロープ固定金具

① スロープ固定金具と据置スロープ取付板をトラスビス(M6×8)、平座金にて各 ２ ヶ所締め付け (D 部参照)、更に下部フレームを M10×20 ２ヶ所締め付けます。

②スロープ固定金具の取付後、据置スロープ全面の２ヶ所のミゾをスロープ固定金具側のフック位置に合わせ上から据置スロープを乗せます。

⚠警告　十字穴トラスビスのネジ部がシザーベース内側へ出っ張っていないこと。出っ張っているとシザーローラー部が引っ掛かり下降しなくなる恐れがあります。最悪の場合引っ掛かりが外れた時にテーブルが落下します。

(14)高さ調整板、ブリッジガイド、ブリッジガイドステー

高さ調整板の選定は、

☆段差が 290 ㎜～440 ㎜の場合

→ 高さ調整板(小)を使用します

☆段差が 440 ㎜～600 ㎜の場合

→ 高さ調整板(大)を使用します。

＜設置、組立方法＞

①六角レンチ(5 ㎜)にて六角穴付ボルト(M6×16)、SW、平座金を取り外します。

②高さ調整板の高さは家屋～地面までの全高から 10～30 ㎜程低く設定し、六角穴付ボルト、SW、平座金を六角レンチにて締め直します。

③調整が完了しましたら、②にて組み付けた高さ調整板とブリッジガイド一式とブリッジガイドステーを六角穴付ボルト(M6×16)、SW、六角ナットにて締め付けます。

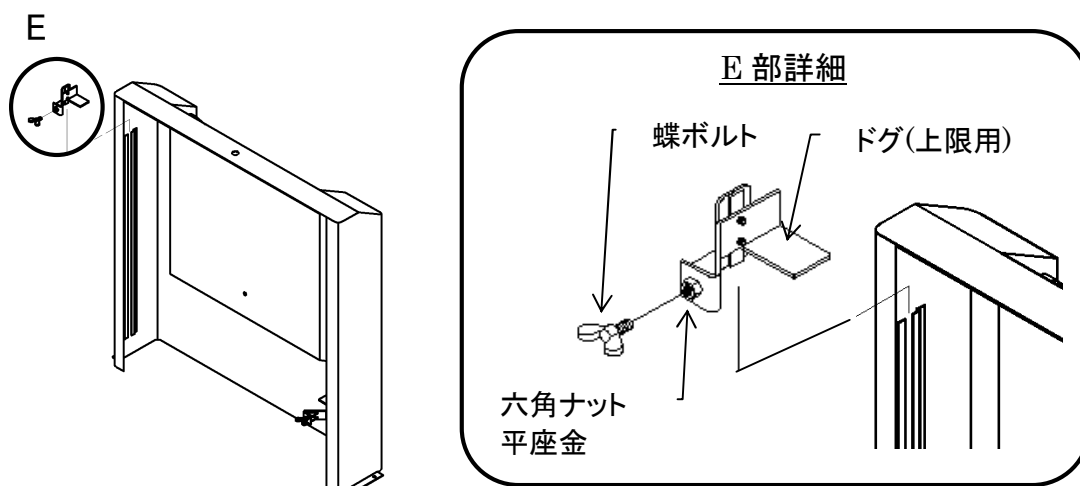
④本体下部フレームとブリッジガイドステー一式を十字穴トラスビス(M6×8)にて固定します。

⚠警告 十字穴トラスビスのネジ部がシザーベース内側へ出っ張っていないこと。出っ張っているとシザーローラー部が引っ掛かり下降しなくなる恐れがあります。最悪の場合引っ掛かりが外れた時にテーブルが落下します。

(15)ドグの設定

ドグ(上限用)の設定

①リフトを停止させたい高さまで上昇させます。(600 ㎜以内)

②上限リミットスイッチ用ドグ(上限用 ※コラムカバー裏面左側)を固定している蝶ボルト(M6)、六角ナット、平座金を緩め、リミットスイッチがカチッという音がするまでスライドさせ六角ナット、蝶ボルトの順に締め付けます。

ドグ(下限用)の設定

①ドグ(下限用)は出荷時にテーブル高さ 50 ㎜にて予め設定されていますので下限までテーブルを下げ下限用リミットスイッチが動作しモーターが回転しなくなることを確認して下さい。

② 下限用リミットスイッチが動作せずにモーターの回転が止まらない場合、ドグ(下限用)を調整して下さい。テーブルを下限まで下げドグ(下限用)の蝶ボルト、六角ナットを緩めドグ(下限用)が下限用リミットスイッチに当りカチッというまでドグ(下限用)を下方スライドさせ蝶ボルト、六角ナットを締めて下さい。

⚠注意

・上限リミットスイッチドグの固定ネジ(蝶ボルト)の締付けは完全に行って下さい。
・設定高さを 600 ㎜以上に設定しないで下さい。

(16)ロールカーテンの取り付け

ロールカーテンの端部をテーブル裏面より取り外し、下部フレーム側面のホックに３ヶ所取り付けて下さい。

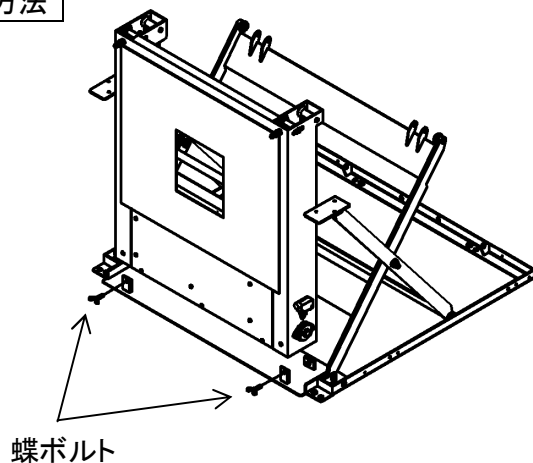
⚠注意

・テーブル裏面のマジックテープよりカーテン端部を取り外し誤って手を放してしまうとカーテンが巻き取り方向に回転し過ぎて巻き取らなくなってしまいます。

＊＊＊以上で組立は完了です。＊＊＊

移動用キャリングキット(オプション)取付方法

本体を組み立てた状態のまま、位置を移動するためのオプションキットです。部品構成はキャリングキット、キャリングハンドルとなっております。

組立方法

①本体のコラムとシザーベースを固定している蝶ボルト(左右各 1 本)を取り外します。

②キャリングキットをコラムに当て、取り外した蝶ボルトでコラムと共締めします。

移動方法

①リフト本体から、据置スロープを取り外します。
②リフトを 20 から 30cm 程度　上昇させます。
③側面のロールカーテンのホックをシザーベースから外し、カーテンをテーブル下面に収納します。
④電源コードを抜き、コラム背面に収納します。
⑤キャリングハンドルを、シザーベースに開いた穴に掛けます。
⑥キャリングハンドルをゆっくりと持ち上げ、移動用車輪が地面と接地させ、さらにリフトの重量バランスが取れる位置まで持ち上げます。
⑦移動する目的の場所まで、ゆっくりと移動させます。
⑧固定する位置が決まりましたら、キャリングハンドルをゆっくりと下げ、リフトを降ろします。
⑨キャリングハンドルをシザーベースより取外し、ロールカーテンを下げ、据置スロープを取り付け、電源コードのセットを行い、使用できるようにします。
キャリングキットは取付けたままでも、リフトは使用できますが、邪魔な場合は取り外してください。

⚠注意

・移動は必ず平坦な硬い場所で行なってください。 砂利や凸凹した場所での移動は危険ですので、行なわないでください。

・移動中は、キャリングハンドルをしっかり持って、ハンドルがシザーベース部から外れないよう、充分注意してください。

・リフトを持ち上げる時はバランスに注意し、持ち上げすぎてリフトが転倒しないように充分注意してください。

・リフトを降ろす時は、急に落下しないように注意してください。

・安全のために、できるだけ 2 人で作業してください。

8. 分 解

組立と逆の手順で行なって下さい。

⚠注意

次回組立の為、下記点にご注意下さい。

(2) ビス、平座金などの細かい部品を紛失しないように注意して下さい。

(3) カイモノを入れ、シザーを固定する際は、電源を切る前にベルトをたるませて下さい。
(カイモノにシザーが当たり、下降が止まってから 1～2 秒さがるボタンを押し続けて下さい。)

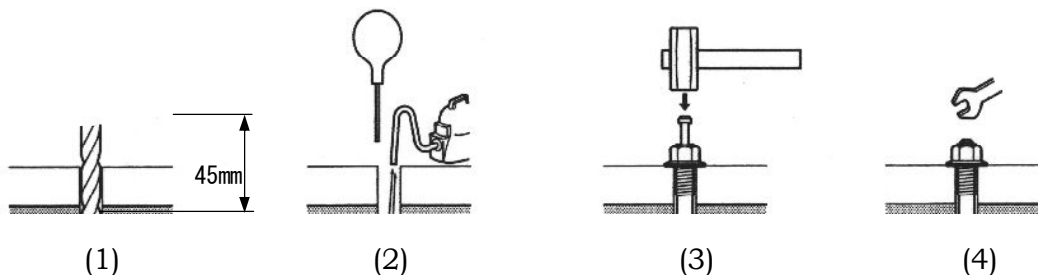
9. アンカーボルト設置方法

(1) 同梱のアンカーボルトで固定する為に、アンカーボルト打設用電動ハンマードリルを用いコンクリート穴開け用ドリルϕ10.5 で深さ 45 ㎜の下穴を開けます。

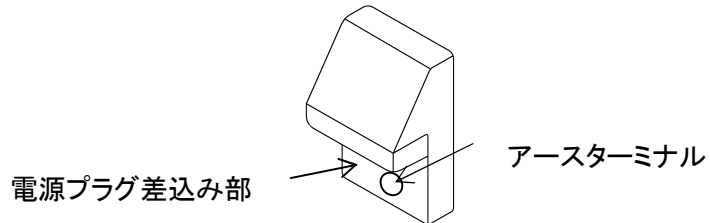
(2) 穴内の切紛を除去します。

(3) 同梱のアンカーボルトを挿入し、ハンマーでピンを打ち込みます。

(4) スパナ類を用いてシザーベースを締め付けて設置完了です。（締め付けトルク 13～15N･m）

(1)　(2)　(3)　(4)

10.アースについて

屋外に設置する場合は、アースが必要なため必ずフル接地の防水コンセント（JIS 防雨形）から電源をとって下さい。守らないと感電などのおそれがあります。

※内径規程が改訂され(1996 年)防水コンセントは接地極付き又はアースターミナル付きの使用が原則となりました。

11.設置完了後のチェックリスト

項目	チェック項目	チェック欄	備考
段差解消機	アンカーを打つ場合は最低2本を打ち、少なくとも1本はシザー固定 軸側に打つこと。		
設置後状態確認	水平が出ていること。		
	本リフトと段差、建物側に上昇、下降時当たりがないこと。		
	リフト本体にガタツキのないこと。		
	リフトの電源は、屋外用フル設置の（JIS暴雨形）防水コンセントから取られていること。		
動作確認	下限位置で下限リミットスィッチが動作しモーターの回転が停止すること。		
	上限設定位置（段差上面）でリフトが停止すること。		
	リフト上昇中、異常音、異常振動のないこと。		
	下限位置まで下降すること。		
	ベルトの固定、ベルトとの取り廻しが正しく組まれていること。		
	リフト下降時、カーテンが巻き戻されていること。		
	上限停止位置で（段差上面）で自動ブリッジを倒した時（開）段差床上面にブリッジが30㎜以上架かっていること。		
	ブリッジガイドステー取付ビス(十字穴トラスビス)がシザーベース内側へ出っ張っていないこと。		
	上限停止位置で自動ブリッジがスムーズに動くこと。		
	据置スロープがガタツキなく設置されていること。		
	スロープ固定金具取付ビス(十字穴トラスビス)がシザーベース内側へ出っ張っていないこと。		
	電源を切って非常用降下ボタンの操作でテーブルが下降すること。		